

SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2023.1.11(No.3141)
週報 No.18

再生・新生・共生

第2560地区ガバナー／高橋 秀樹
会 長／西山 徳芳
会長エレクト／吉井 直樹 (クラブ奉仕A)
副 会 長／野崎喜一郎
幹 事／梨 本次郎
S A A／石黒 良行
会 計／五十嵐博宣
直前会長／歸 山 肇
会長ノミニ／渡 辺 良一 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(～はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

- 本日の出席会員数:57名中47名
(名誉会員 高橋一夫さん含む)
- 先々週出席率:70.18%

【ゲスト】

・三条市長 滝沢 亮 様

【先週のメイクアップ】

- [12.22] 三条東RCへ
・松永隆夫さん、斎藤弘文さん
- [12.22] 三条RACへ
・西山徳芳さん、梨本次郎さん、
・相場弘介さん、山田富義さん、
・吉井直樹さん
- [12.26] 三条南RCへ
・丸山行彦さん、斎藤弘文さん
- [12.27] 三条北RCへ
・石橋育於さん



2022～2023 年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

西山徳芳 会長



あけましておめでとうございます。

今年は皆様に、ご多幸がありますことをお祈り申し上げます。

今日は、皆様お待ちかねの滝沢市長様の新春卓話です。

さて、1月は職業奉仕月間です。職業奉仕というとロータリーの五大奉仕部門

(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)の一つになります。

職業奉仕というのはいわゆるロータリアン全員が天職を通して、人のためになる行為であり、RI会長を務められたハーバート・テラー氏の四つのテストに具体的に表されている、

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

これらを照らし合わせ、行動するということでもあります。難しい出来事だと思います。

お医者様が無医村に入って無料の医療を施すとか言ったものではなく、皆の為に広くサービスをすることになります。

サービスと言うと日本語で奉仕という風に直訳されるかもしれませんが、実はそのようなことではありません。特定の人や地域のために無償で行うようなものではなく、有償であっても、広くたくさんの人々のために働くことが、シェルドンの提唱した職業奉仕という概念とのことです。

私もまだ学ぶべきことが多く、まさにBack to Basics基本に返ろう、といったところです。自らの職業を通してどのような奉仕ができるか考えてみたいと思います。

この機会にどうぞ皆様も、私と一緒に考えてみてはいかがでしょうか。

挨拶は以上になりますが、来たる新竹城中RCの創立30周年記念式典への参加は13名になりましたことをご報告いたします。

幹事報告

梨本次郎 幹事



◎2023年1月のロータリーレートは、1ドル132円です。

◎高橋ガバナー事務所より

「ガバナー月信1月号発行のお知らせ」

◎地区事務所より

「令和4年8月新潟県・青森県豪雨災害支援金の御礼」

地区内クラブからの支援金総額は、
県内宛て237万3000円、青森県宛て160万3050円に達しました。

◎地区事務所より

「2023-24年度 国際ロータリー会長テーマ発表のお知らせ」

2023-24年度 ゴードン R.マッキナリー会長のテーマ
「世界に希望を生み出そう」

◎地区米山記念奨学委員会より

「第2回 米山記念奨学委員長セミナーのご案内」

日 時 2月4日(土) 13:00~16:00

会 場 ホテルオークラ新潟

◎地区事務所より

「ロータリー財団セミナー・補助金管理セミナーのご案内」

日 時 2月18日(土) 13:00~16:00

会 場 ホテルオークラ新潟

◎地区ローターアクト委員会より

「第53回ローターアクト地区大会のご案内」

日 時 3月18日(土) 13:00~

会 場 ANAクラウンプラザホテル新潟

◎三条ライオンズクラブより

「市内7クラブ 現・次期 会長・幹事会のご案内」

日 時 4月7日(金) 18:30~

会 場 ジオ・ワールドビップ

◎いからしの里 五十嵐園長より

「クリスマスプレゼントの御礼」

ニコニコBOX

高橋一夫名誉会員

今年もよろしくお祈りします。

西山徳芳会長

雪で花が少なく、椿の赤いつぼみが^{ろばた}炉辺で微笑しています。

五十嵐晋三さん

滝沢市長、高橋名誉会員歓迎致します。1月11日は85歳の私の誕生日です。いつの間にか年を取ってしまいました。時の早さを感じます。

今年もよろしくお祈りします。

荻根澤隆雄さん

新年明けましてお目出度うございます。本年も皆様にとっても素晴らしい一年となります様祈念申し上げます。

小越憲泰さん

あけましてお目出度う御座います。

本日は滝沢市長様ありがとうございます。

小出子恵出さん

明けましておめでとう御座います。本年もよろしくお祈り致します。

ボケが心配です。

吉井直樹さん

明けましておめでとうございます。本年は特にお世話になる事が多いと思いますが、宜しくお祈り致します。

三条市長 滝沢様、卓話を楽しみに来ました。
宜しくお祈りします。

梨本次郎さん

新年明けましておめでとうございます。皆様、今年も宜しくお祈り致します。

本日はご多忙の中、滝沢市長ありがとうございます。

金子俊郎さん

明けましておめでとうございます。今年が良い年になるよう願っております。

中林順一さん

新年あけましておめでとうございます。
雪が消えて良かったです。

安達俊明さん

市長さん、今年もよろしくお祈いします。

野崎喜一郎さん

6回目の年男になりました。今年一年、元気で
過ごしたいと希望しています。

渡辺良一さん

明けましておめでとうございます。今年もよろしく
お祈い致します。

雪もなく、スムーズな1年のスタートが出来ました。

長谷川徹さん

おめでとうございます。うさぎ年です。とびはね
ましよう。

関川 博さん

三条市長、今年もよろしくお祈いします。

重山直明さん

あけましておめでとうございます。今年の干支は
飛躍の年うさぎですね。皆様にとって良い一年で
あります様に！

石橋育於さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力
いたします。

中村和彦さん、 齋藤弘文さん、 高橋 司さん、
近藤雄介さん、 歸山 肇さん、 松永一義さん、
石倉政雄さん、 落合孝夫さん、 渡部 宏さん、
船越良則さん、 衛藤泰男さん、 丸山行彦さん

明けましておめでとうございます。今年もよろしく
お祈い申し上げます。

三条市長 滝沢様を心より歓迎申し上げます。

杉山幸英さん、 若槻八十彦さん、 齋藤真澄さん、
明田川賢一さん、 柳取崇之さん、 五十嵐博宣さん、
外山浩玲さん、 石黒良行さん、 早川滝徳さん、
野水靖之さん、 丸山鉄兵さん、 長谷川正実さん

明けましておめでとうございます。今年もよろしく
お祈い申し上げます。

1月11日分 ￥ 56,000
今年度累計 ￥ 631,000

2023-24 年度 国際ロータリー会長テーマ

「世界に希望を生み出そう」 (英語：CREATE HOPE in the WORLD)

サウス・クイーンズフェリー・ロータリー
クラブ（スコットランド）の会員である
ゴードン R. マッキナリー国際ロータリー
会長エレクトは、1月9日、米国フロリダ州
オーランドで開催中のロータリー国際協
議会で講演し、2023-24年度会長テーマを
発表されました。



世界に希望を生み出そう

「私たちの目標は、破壊的な紛争から世界
が立ち直れるように、希望を取り戻すこと
です。そうすれば、私たち自身のために
持続可能な変化をもたらすことが可能とな
ります」とマッキナリー氏は述べました。



「新春例会」

『大』注力中！三条市の空き家対策



三条市長 滝沢 亮 様

あけましておめでとうございます。三条市長の滝沢でございます。

本日は、三条ロータリークラブ様の新春例会にお招きいただきありがとうございます。

本日のテーマは、『大』注力中！三条市の空き家対策」と題して、プレゼンテーションをさせていただきます。

今回のプレゼンテーションは、3つのテーマに分けて、ご説明致します。

1つ目は、「情報発信」、2つ目は、「空き家活用」、そして3つ目は、「空き家の除却」いわゆる解体でございます。

まずは、1つ目のミッションとして、空き家の流通促進を進めるため、情報発信として、状況把握、所有者・利用者への啓発を行う活動です。

2018年度の住宅・土地統計調査によると、三条市の空き家は4,450戸とされており、その中でも、「1年以上放置されている“その他の住宅”」の増加が大きな問題となっています。

その他の住宅については、現状のまま進んでいくと、2030年までに約25%増加し、2375件となってしまうことが予想されていました。

そこで、抜本的な改革、空き家対策を加速させるため、2022年5月に、総務省の地域活性化起業人制度を活用し、東京の民間企業「ジェクトワン」から、特命空き家仕事人が着任しました。

着任したのは熊谷さんで、建築・不動産の専門的な業務をするなか、空き家活用事業を首都圏で推進してきた実績を持っています。

「特命空き家仕事人」について説明すると、これは私が直々に名付けたんですが、より三条市内の方々に浸透することを目的として、「特命係長」と「必殺仕事人」を足して2で割った名前にしました。

特命空き家仕事人の具体業務としては、空き家対策全般で、空き家を流通促進、予防、啓発、利活用、除却のみならず、地域と連携し、移住定住促進や、まちづくりに入り込み、日々市内を走り回っています。

先に2022年度、12月までの成果は、このような数字となっており、昨年度よりも大きく上ブレしています。



120 (昨年度計30件)

空き家相談件数

43 (昨年度計16件)

空き家バンク登録件数

56 (昨年度計18件)

空き家流通件数

結果からお伝えしましたが、どうすれば空き家対策が進むか？まずは、知ってもらうことから、始めてきました。これは、メディア露出、講演会、セミナーやイベントの数です。昨年度は、新聞掲載以外は、全て行っておらず、今年度すべて新規でスタートしています。



新聞掲載	8回
セミナー開催	3回
ラジオ出演	3回
イベント開催	10回
講演会	10回
Twitter スペース	8回
YouTube出演	3回

例えば、発信としては、基本的なこととして、三条市公式ホームページへのバナー設置、全11箇所の公民館等への空き家相談ボックスの設置を早々に行いました。

さらに、ラジオ出演もいくつか行っており、私がMCをやっている番組や、NAMARA MIXにも出演し、多くの反響を呼んでいます。

また、民間の様々な方々と、インスタライブ、Twitterスペース、YouTubeへの出演も積極的に行い、三条市のPRや空き家対策を行っている顔として、特命空き家仕事人、空き家相談員を知ってもらう活動を行っています。

新聞にも数多く取り上げていただき、地元の方々から問い合わせ数が増えております。

広報さんじょうや、まるごと県央には、空き家相談窓口としての活動、空き家バンクを広く知ってもらうために記事を掲載しました。

さらに、今年度から、「空き家セミナー」を新たにスタートし、宅建協会や行政書士会、弁護士会、建設協会など、様々な専門家の方々と空き家に関する講演を行っています。

現在3回実施し、次回は、下田公民館にて、出張空き家相談会を実施します。

こちらは、新潟県の空き家相談士協会様から、ゲストとして講話も行っていただき、私もお挨拶にかけつける予定でございます。

また、小学校や、各有志団体、自治会、地域包括支援センターなど、さまざまな場で、講演の機会もいただき、三条市の空き家対策、空き家バンク、空き家相談窓口として、自分たちに情報が集まるよう、訴えかけてきました。

さらに、今年度から空き家を使ったイベント、「SANJO AKIYA ASOBI」もスタートしました。

これは、空き家を1日限りで開放し、飲食店や物販、その他空き家探検など、様々な利用をして、空き家を見てもらおう、体験してもらおうといった目的のイベントです。新潟全域から、学生や、空き家活用に明るい建築士たちを集めたワークショップも開催しました。

今まで中を見る機会がなかった身近な空き家に入れる機会を増やし、利用者を増やすきっかけや、空き家をお持ちの所有者の方々の問い合わせにつなげる効果があります。

そして、最新では、11月に、三条市の観光大使である「ひよりん」とコラボを行い、雨にも関わらず来場者8,000人の大イベントを開催しました。

まちやまでマルシェを行い、ここから空き家探検ツアーを行い、子供から大人まで、空き家で遊び、TikTok配信まで行う、新たな試みも行いました。

空き家専門のYouTubeチャンネル「燕三条空き家ライフ」にて、空き家専門動画もアップし始めています。

こちらは、2年前まで、民間の方々に空き家の発信を行っていたチャンネルを継承し、空き家の情報発信を行っています。

是非、皆様もチャンネル登録をお願いします。

ここまでのいろんな活動をしてきましたが、一つの仮説として、「所有者の方々が能動的に問い合わせを行う仕組み」を作るのが近道である、ということを考え進めてきました。

空き家問題をきちんと自分事として捉えてもらい、解決のサポートができる、空き家相談窓口にご連絡をいただけるよう、露出の機会を増やしています。

続いて2つ目の「空き家活用」についてです。

空き家活用は、移住定住促進や、中心市街地の

活性化に繋がり、空き家対策のみならず、三条市のブランディングやPRにつながっていきます。

1つ目のプロジェクトは、移住促進住宅プロジェクトです。

こちらは、今年度満を持してスタートした、下田地区の空き家を1棟、三条市で借り上げ、リノベーション後に、移住者へお貸し出しする、新たな試みです。

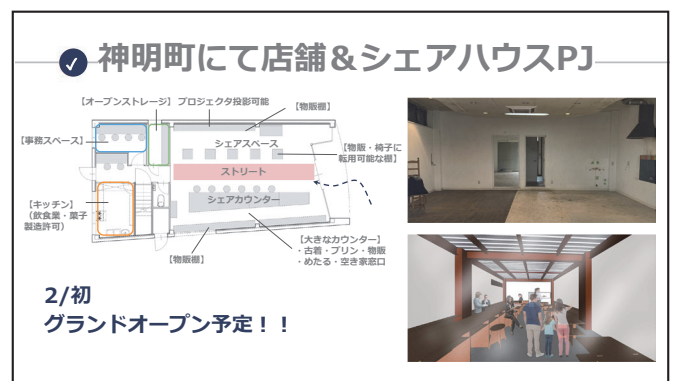
今年度は、1棟目として、田屋の築120年の古民家を、同じく下田に移住されたインテリアデザイナーのFFAさんにコーディネートいただき、1月から工事着工していきます！

コンセプトを「土間を楽しむ」と名付け、下田ならではのアウトドアの暮らしを内包し、古民家ならではの雄大かつ、古き良き生活を取り入れた暮らしを提供していきます。

続いては、先日12月頭に、一ノ木戸商店街にて開催したDIYイベントです。

こちらは、空き店舗を舞台とし、民間の空き家活用団体が実施し、大学生や商店街を巻き込み、大きなイベントとなりました。

こちらの物件は、2月頭にグランドオープンを迎え、このように様々な店舗や、移住者向けのシェアハウスとして生まれ変わります。



最後の物件は、まちやま前に秋にオープンした、「sanpo」という靴下やハンカチ等を扱う、雑貨店です。

こちらは、空き家改修の補助金を利用し、新規出店を実現した物件です。空き家の所有者と交渉し、1棟まるごと借り上げ、事業が成り立つように商工課や地域経営課と打ち合わせを重ね、オープンさせました。

最後は、除却、つまり危険な空き家の解体についてです。

今年度から、三条市としては初めて、特定空き家、つまり危険な空き家の解体に関する補助金を導入し、10棟の解体を年度内に進めています。

こちらは一事例ですが、外壁や屋根が剥がれ落ちそうになり、近隣の方々や土地に迷惑をかけていた物件が補助金を活用して解体し、更地となり、最終的には売買に結びつきました。

これまで費用面で二の足を踏んでいた空き家も、一部の助成ではありますが、行政のサポートによって、除却を進めることができるようになりました。

また、建設業者との連携も進んでおり、建設業協会を通じて、空き家セミナーでの解体や工事のご相談や工事費算出、技術的支援なども、今年度から新たに行っています。

ご清聴ありがとうございました。



次週例会 1月25日 「会員卓話」 中村信一 会員

次々週例会 2月1日 「外部卓話」 元米山記念奨学生
ゴーグエンチーチュン様

